

2007年3月17日(土)
@関西セミナーハウス

特定領域「フレーバー物理の新展 開」

研究会2007 —閉会にあたって—

中家 剛(京都)

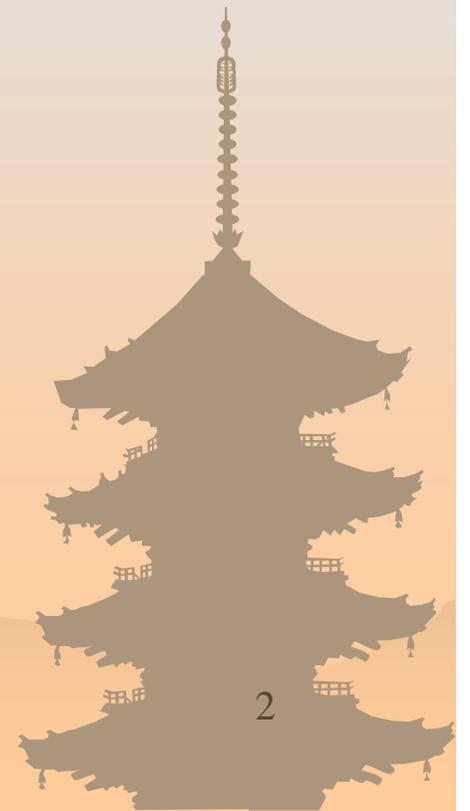
1. 参加者情報

❁ 参加者

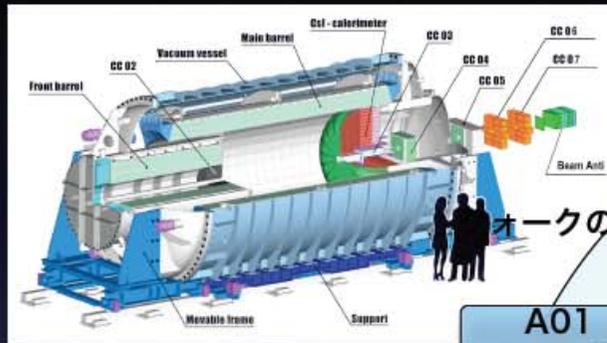
- 予定: 48名
- 実際: 47名 { -4名(キャンセル) + 3名(飛び入り) }
 - 15(学生)
 - 5(研究員)
 - 27(スタッフ)

❁ 講演数

- 22(内2は開会と閉会の挨拶)
 - 2(大学院生)
 - 5(研究員)
 - 13(スタッフ)
- - 3(理論)
 - 17(実験)



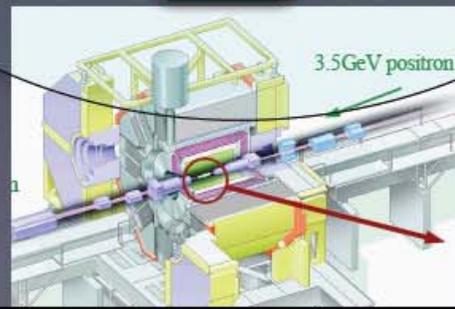
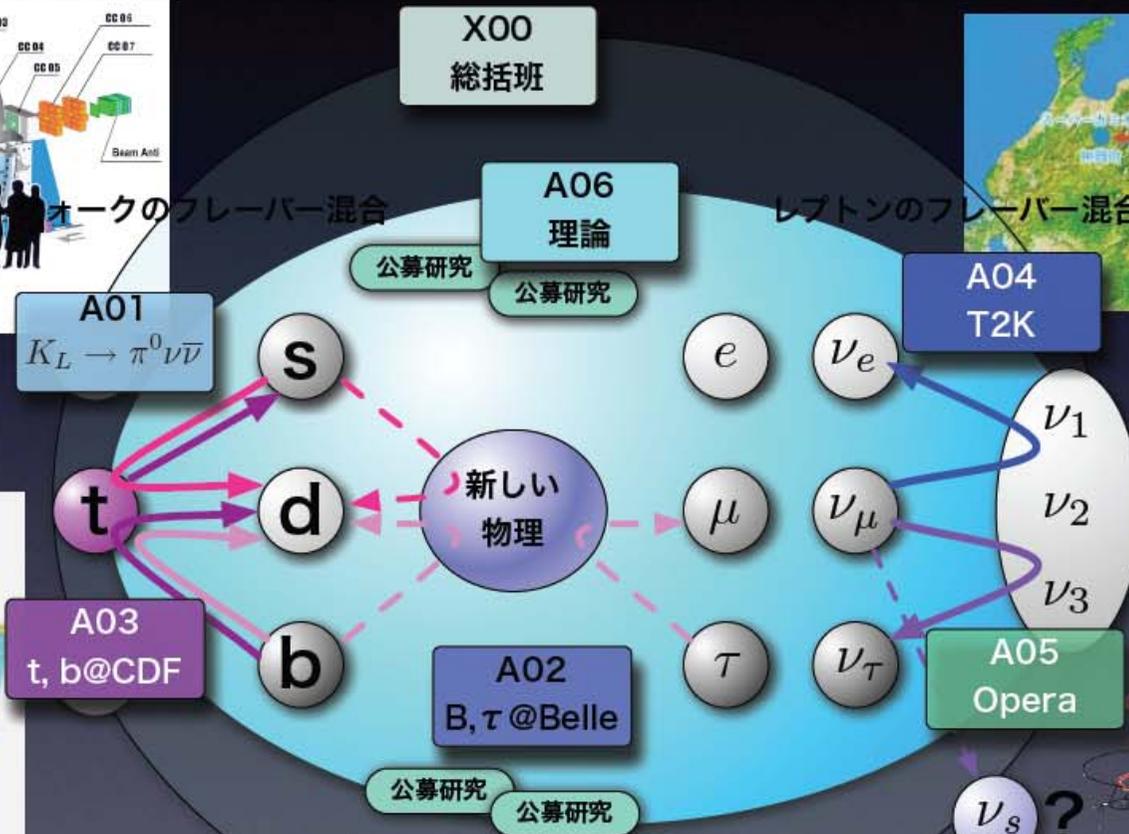
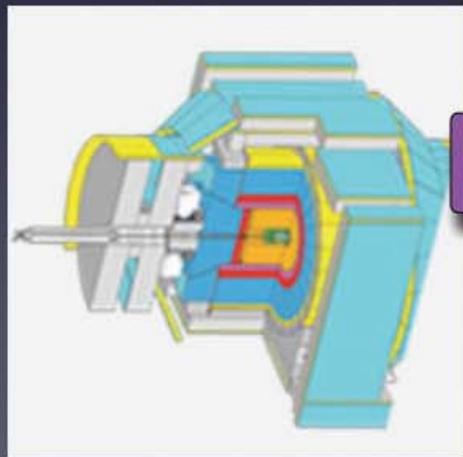
- 今年度は「フレーバー物理」特定領域の初年度
- 来年度からはもっと多くの成果報告が期待される。



オークのフレーバー混合



レプトンのフレーバー混合



From: Taku Yamanaka <taku@hep.sci.osaka-u.ac.jp>

Subject: フレーバー物理 特定領域の研究会

Date: Thu, 28 Dec 2006 16:34:46 +0900

To: Shinhong Kim <skim@hepsg3.px.tsukuba.ac.jp>, 大島 隆義 <ohshima@hepl.phys.nagoya-u.ac.jp>, 西川 公一郎 <nishikaw@neutrino.kek.jp>, 丹羽 公雄 <niwa@flab.phys.nagoya-u.ac.jp>, 日笠 健一 <hikasa@phys.tohoku.ac.jp>, 中家 剛 <nakaya@scphys.kyoto-u.ac.jp>, nakamura@flab.phys.nagoya-u.ac.jp

X-Mailer: Apple Mail (2.752.2)

特定領域フレーバー物理の皆様、

特定領域の研究会の担当として、次の案を提案します。
(名古屋が2年続くのを避けて、丹羽さんを2011年にしましたが、
早めの方がよいのであれば、まだ調整可能です)

今年度は、中家さんが音頭を取ってやりますので、
いろいろと問い合わせが行くことと思います。

では、どうかよいお年を。

山中 卓

主催	山中	大島	金	西川	丹羽	日笠
2007年3月頃: 中家			X		X	
2008年3月頃: 日笠			X			
2009年3月頃: 大島			X			
2010年3月頃: 金	X	X	○			
2011年3月頃: 丹羽			X			
2012年3月頃: 山中	○	X	X			

Taku Yamanaka
Physics Dept., Osaka Univ.
1-1 Machikaneyama, Toyonaka, Osaka 560-0043 Japan
Email: taku@hep.sci.osaka-u.ac.jp
phone: +81-6-6850-5356 fax: +81-6-6850-5532

「フレイバー物理研究会」今後の開催予定 2006年～2011年：6年計画

- ❁ 2006年度： 京大（A04班：西川）
- ❁ 2007年度： 東北大（A06班：日笠）
- ❁ 2008年度： 名古屋大（A02班：大島）
- ❁ 2009年度： 筑波大（A03班：金）
- ❁ 2010年度： 名古屋大（A05班：丹羽）
- ❁ 2011年度： 大阪大（A01班：山中）
 - 今後、もっと若手、公募研究の発表が期待される。

「フレイバー物理」総括班の活動

❁ 総括班メンバー

- 山中(A01)、大島(A02)、金(A03)、西川(A04)、丹羽(A05)、日笠(A06)、中家(A04)

❁ 活動

- 研究会の開催。
- 領域を活性化させるための活動
 - 分野横断的な研究会開催に対する補助(PD07、...)
 - 若手の研究者の(国際会議等での)成果発表に対する補助。(2006年度はJPS/DPFミーティングの発表に対する補助をしました。)
- 活動に対するプロポーザルも受け付けます。

⇒ 総括班メンバーにコンタクトを取って下さい。

最後に

- ❁ 皆さん、参加、発表ありがとうございました。
- ❁ 研究会開催のサポートをして頂いた方々
 - 阪大山中研秘書： 川口さん
 - 京大物2実験秘書： 中尾さん
 - 京大大学院生： 久保田、松岡、川向、五味、久保、塩見
- ❁ 来年度は「東北」でお会いしましょう！

